

## 第212回一関市教育委員会定例会 会議録

### 1 開催日時

開会 令和2年10月23日（金）午後1時30分

閉会 令和2年10月23日（金）午後3時22分

### 2 会議の場所

一関市役所議会第1委員会室

### 3 出席者

教育長 小菅正晴

委員 千葉和夫

委員 佐藤一伯

委員 伊藤一志

委員 桂島加奈子

### 4 会議に出席した関係者及び職員

教育部長	菅原春彦
一関図書館長	黒川俊之
教育部次長兼教育総務課長	及川和也
教育部次長兼学校教育課長	瀧野澤 徹
一関市博物館次長	佐藤光俊
いきがづくり課長	伊東吉光
骨寺荘園室骨寺荘園係長	岩 洸 悟
教育総務課長補佐兼庶務係長	千葉由紀（記録）

### 5 議題及び議決事項

協議第9号 財産の取得について（一関市立小中学校学習用タブレット）

協議第10号 財産の取得について（一関市立小中学校用タブレット充電保管庫）

### 6 報告

(1) 行事報告及び11月行事予定について

## 7 その他

- (1) 令和2年度学校教育行政の重点について（グローバル化への対応）
- (2) 「骨寺村荘園遺跡」拡張登録に係る取組状況について
- (3) その他

## 8 会議の議事

○教育長 定足数に達しておりますので、ただいまから第212回一関市教育委員会定例会を開会いたします。

議事に入ります。

今日はタブレットについて、それから議事日程第2、協議第10号財産の取得について、一関市立小中学校タブレット充電保管庫につきまして、関連内容でありますので併せて提案をお願いいたします。

協議第9号 財産の取得について（一関市立小中学校学習用タブレット）

協議第10号 財産の取得について（一関市立小中学校用タブレット充電保管庫）

○教育総務課長 （説明）

○教育長 2つ一緒の議題としましたが、質問意見等、順番に行きたいと思います。最初はタブレットの関係でご質問、ご意見等ありましたよろしくお願いします。

○千葉委員 タブレットに8億という予算のようですが、市と国の比率はどれぐらいになるのでしょうか。

○教育総務課長 まず国の方ではタブレット本体に対して1台当たり上限が4万5,000円まで補助がつくという内容でございます。

ですのでパソコンの各メーカーでも1台の価格が4万5,000円となるようなギガスクールモデルというのを作っている状況でございます。

その他にソフト等が入りますが、今回はコロナ対策の国庫予算、補助金を使用して購入するというところでございます。

○千葉委員 市はゼロで済むわけですか。

○教育総務課長 コロナの予算では7割程度、残りの3割程度は市の持ち出しというような形になります。

○教育長 そうすると今の確認ですけれども、全体の中でハード部分は基本的に4万5000円の中の仕様に入って大丈夫だと、市からは出さなくていいと、そしてソフト関係、ここで2つ入っていますが、このソフト関係は国の特別交付金を使って対応すると、それはあくまで7割、だからこのソフト部分のうちの3割が市ということですね。

そうすると全体の中では1割、8億ですけど1割以下の部分で対応できるということですね。

**○教育部長** ただいまコロナの特別交付金の充当が7割というふうにお話ししましたがけれども、これは市全体の他の事業への割り振りといいますか、充当状況を見極めながら、現在他の事業にも、いろいろな商工関係とか労働関係とか福祉関係の事業にもコロナの事業を充当しているのですが、その中でもし不用額が出ればこちらの方に振り替えるというふうな場面も想定されますので、そうすると7割が8割であったり9割であったりというふうな充当率が上がる可能性も十分あるところであります。

**○伊藤委員** 2点ほどお聞きします。

まずこのタブレットのメンテナンスはやっぱり必要なんですか、というのが1点。

もう1点は、現在在学している児童生徒に対するタブレット数だと思うんですけども、遠い将来に生徒数が少子化になって激減していくと余ったタブレットはどのような形になるんでしょうか。

**○教育総務課長** 通常であればこういうコンピューター関係であれば、リースで購入して5年対応というような形で行うのが通常なんですけど、今回はコロナの補助金を使うということで今回は購入するというものでございます。

ですので今回、金額の中にメンテナンス料も含まれた内容での購入というふうになります。あとは今回購入するタブレットにつきましては一応、5年間は使うというものでございますが、その中で委員さんがおっしゃられる通り、毎年、子供の数が減っていきますので、台数は余ってくるような形なんですけど、それについては緊急用について今のところ20台しか準備しておりませんので、中には使い方によって壊れるものもあるのかなと思います。なので、そういったものを代替品としていこうと考えておりました。

**○佐藤委員** 2つ目の議案の方の取得額と予算額、随分差が、予算額は1億3,000万で取得が3,000万円というようなのは、こちらのタブレットについてはここまでの取得額と予算額とでは結果的に取得額が安くなるのか、そういう見通しというのはあるんでしょうか。

**○教育総務課長** 今回6社に声をかけまして、実際入札に参加したのは5社、そのうち2社が辞退をしまして3社でもって入札となりましたが、この落札者は取得額が3,000万のところですが、他の2社につきましては5,000万円台、あとは4,000万円台ということで、かなり落札者が低かったんですけど、仕様書通りのものを導入されるということで確認をしております。かなり多い台数ですのでそれによって価格は安く仕入れられるのかなというふうには見ておりました。大分予定よりも低い額で落札になったというのは事実でございます。

**○教育部長** 協議第9号のタブレットの契約価格のご質問もございましたので、そちらの

方につきましては現在の契約事務は他の部署でやっております、実際幾らで契約なるかについてはまだ連絡がありませんので、実際幾らで契約するかはまだ、こちらの方では承知してないところであります。

○桂島委員 タブレットの数の一覧ですけど、予備を含むと書いているんですけど、その予備は一つの学校に何個っていうふうな基準で決めているのかそれとも生徒数何人に対して、何台にするっていうふうに決めているのか、どの位の枠で設けていらっしゃるのかなということをお聞きしたいのですが。

○教育総務課長 20台につきましては、とりあえずの台数でございます。この生徒数につきましても、今年度の生徒数になりますので、実際は来年の導入になればもっと減ることになりますので予備の部分はもう少し余りますので、とりあえず20台を見越して予備用として準備するものでございます。

○桂島委員 児童生徒用の数は本当に今いる小中学校、なり来年入学するであろう小中学生の分の数、プラス予備が20台っていうことでよろしいですか。

○教育総務課長 よろしいです。なのでこの20台につきましては生徒数の多い学校にまず置いておくことにしたいと思っていました。

○教育長 私からも1点だけ、納入期限の但しのところですが、これは3月31日までの納入期限だけでも、どうしても間に合わない時に、しかも議会で繰り越してもいいですよという議決された時だけ延ばすことができるということによろしいですか。

○教育総務課長 その通りでございます。もし繰越議案を提出するとすれば3月議会での議決ということになるかと思えます。

○教育長 国庫補助金の予算繰越手続きについては市でこれを定めることができるの。

○教育総務課長 市から国に手続きをしまして、許可が得られれば。

○教育長 前提はできるだけ3月31日で済むようにやるということですね。

それでは次、協議第10号、保管庫の部分につきまして何か質問、ご意見等お願いいたします。

○桂島委員 充電保管庫も例えば故障したり、何かメンテナンスだったり修理っていうのが必要になる場面もあるかと思うのですが、それに関しての業者さんもこの取得の相手になるのか、それともまた別で、単純に物だけということなのか、その後のメンテナンスも含まれているのかどうか。

○教育総務課長 基本的には故障した場合には、この落札者になりますが1年間は保証期間ということですが、1年を超えれば有償対応というようになります。

○教育長 私からですが、一つはですね、この充電保管庫は教室とか廊下に置いておくと思うんですが、子供たちが例えばそれを持って行って、朝持ってくる夕方まで充電しな

くてもいいようなものなのかということが一つです。

それから、保管庫というよりもタブレットの話に戻ってしまうんですが、このタブレット、の持ち運びの際に例えば落としたりしても故障はしないものなんですか、その辺お聞かせください。

○教育総務課長 この充電器につきましてはタイマーセットによって夜間に充電して、次の日には100%充電となるようなものになりますので、通常の使い方であれば日常の授業については大丈夫だと、ただバッテリーですので長く使ってくると時間は短くなってくるとは思います。

あとはタブレット自体も、このギガスクールモデルにつきましては通常のノートパソコンタブレットよりも、落としても大丈夫なように作られるものがございます。故意的にやらない限りは大丈夫かなと思います。

○教育長 ちなみに水に対してはどうなの。

○教育総務課長 防水仕様となっております。

○教育長 ぱっと入れれば別だけど少々の水であれば大丈夫だということですね。

その他いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは協議第9号と第10号について採決を取りたいと思います。

財産の取得につきまして市長に申し入れすることにつきまして第9号、小中学校の学習用タブレットにつきまして協議することについて、了承の方は挙手願います。

ありがとうございます。

全員一致で可決されました。

次に第10号、こちらは、充電保管器についてですが同じく、財産の取得のために市長に申し入れすることにつきまして了承の方は挙手願います。

ありがとうございます。

これについても全員一致で可決されたところであります。

○教育長 それでは10分間休憩します。

午後2時28分 休憩

午後2時38分 再開

## 報告(1) 行事報告及び11月行事予定について

○教育長 それでは次、3番の報告に入ります。

私の方から行事報告について申し上げます。

前回の教育委員会議は9月24日でありましたので、それ以降につきましてお話しさせてい

たきます。

同じ24日、大東地域の中学校の再編に係る懇談会を猿沢地区で行いました。既にこの日の以前に興田、大原、摺沢、渋民で行われていますので、五箇所目ということになります。

27日、骨寺村荘園稲刈り会がありました。通常はこの稲刈り会には巖美小中学校の子供たちも招いて一緒にやったりしていたのですが、今回はコロナの関係で案内等は広くは行わなかったところであります。しかしながら地域の方、それから有志の方中心にですね、順調に稲刈り会が楽しく行われたところであります。私も参加してきました。

第27週9月28日、第3回の市の校長会議がありました。定例の校長会議であります。

私からは特にも大きな事案が発生したわけではないんですが、今から約10年前の大津のいじめの件につきまして、その事案につきまして改めて紹介させていただいて、注意喚起を校長先生方をお願いしたところであります。私は毎年1回はいじめの件を繰り返し、事例を伝えるようにはしております。大津と岩手県の矢巾の件、それから過去の一関の中のいじめの件、この件をサイクルで毎年1回は伝えるようにしておったところであります。

それから、私からタブレットの活用につきまして、今度入りますのでまずは校長先生方に特にソフトのことにつきましてお話をさせていただきました。

9月30日、臨時中学校長会議がありました。実は部活動に関しての中学校長会議を毎年1回やることにしております、今回もその意味で行ったところですが、特に文部科学省の方から地域部活動という考え方が改めて出されてきましたので、この考え方についていろいろ校長先生方と話し合いをしたところであります。これにつきましてはまたの機会にお話させていただきますが、文部科学省の考えとすれば、将来的には土曜日・日曜日の部活動は地域に返していくという考え方であります。ただ、一気にいきませんのでやれるところから地域に返して行って、学校の先生方が土日にはもう携わらないっていう方向性を明確に出してきましたので、今後いろいろなところで話がなされるものというふうに思っております。

同じ30日に、曾慶地区の大東地域中学校再編に係る懇談会が開かれました。一旦これで大東地域の全部で6ヶ所の説明会はこの日で一旦終了したところでありましたが、後で出てきますのでそこでまたお話しさせていただきます。

それから10月に入り10月3日、骨寺村荘園遺跡の講演会がありました。これは地域づくり、本寺地区の地域づくりについてこれまでの歴史の中を振り返りながら、この世界遺産拡張登録と絡めて、今後どういうふうに展開していったらいいのかっていう部分について過去の部分振り替えながら講演をいただいたところであります。講師は岩手大学名誉教授の広田先生という先生でありまして、農学部の先生ですが、今から20年以上前から本寺地区に関わっておりまして、特に水田のことがご専門なんですけど、いろいろ地域づくりのことにつ

いて、実際に入りながら学生も連れてきながら、いろんな取り組みを行っていただいた先生ですので、非常にいい講演だったところでもあります。

28週10月7日、文化財指定書の交付式がありました。これは8月の教育委員会議で議決いただいたものでありまして、全部で6点の新たな市指定の文化財が誕生しました。大きくは有形文化財としては芦東山日記関係なんですけど、後の5件は無形民俗文化財ということで、いわゆる郷土の民俗芸能、そういった部分についての指定でありました。具体的には白澤神社おためし神事、小沼鹿踊、下猿沢伊勢神楽、浜民伊勢神楽、舞草鉦太鼓念仏ということで無形民俗文化財としては5点、合わせて6点の指定書を交付させていただきました。

10月8日、弔問と書いておりますが学校医の小野寺哲朗様が亡くなりました。花泉の方でありますけど、金沢小、花泉中と長いこと学校医をしていただいた方です。10月の6日に病気が急に悪化して逝去されたということでありました。71歳の方で私の方で弔問させていただきましたところでもあります。

10月9日、市校長会代表との懇談会、同じ日に市のPTA連合会との懇談会もありました。両方とも教職員の人事関係とか環境整備についての要望をいろいろ聞いたところでもあります。

10月12日、幼小中高特高専大校運営委員会がありました。これは様々な校種の校長先生方に集まっていただいて毎年、夏には学校参観をやってキャリア教育についての発表を校長さん方の間でやっていただいていたし、12月頃に講演会と懇親会を企画しておりましたが、今回はコロナの関係で夏の学校参観等は中止になりましたし、12月の講演会について今回は懇親会無しで講演会のみを行うとの話をしたところでもあります。ちなみに11月26日に文化センターの中ホールで西條幸子さんという元アナウンサーの方でありますけど、この方に児童生徒理解についてのご講演をいただくよう予定です。この方は交流分析というカウンセリングの部分の勉強された方で、児童生徒理解に大いに役立つ話が聞けるんじゃないかと考えております。

10月14日、一関市教育振興基本計画後期計画策定懇話会がありました。現在、教育振興基本計画の後期計画を策定中ではありますが、令和3年から令和7年までの5年間の後期の計画であります。これについて、様々なジャンルの方々にお集まりいただきまして、それについての意見を聞くという機会を全部で3回持つ予定ではありますが、その1回目でありました。

同じ14日、大原地区の大東地域中学校再編に係る懇談会がありました。大原地区については2回目です。この大原地区の懇談会につきましてはもう1回、11月11日に開く予定であります。ですからこの懇談会では4つのグループに分かれてもらって、全員が何ら

かの意見を言っていただきながら懇談を進めたところでもあります。ですから結論を出した懇談会ではありません。昨日の新聞に1週間遅れでこの記事が載ったと思うんですが、実際にはこの懇談会では賛成意見が9割ほどでありました。反対意見もあるんですが圧倒的に賛成意見が多かったところでもあります。11月11日に最終的に結論を出すという形で進めておりましたので11月1日には、1人1人の意思を確認しながら全体の、大原地区としての意思を確認する予定であります。

ただ、新聞の中にも11月1日に投票してもらおうっていうくだりがあって、そこについては意見もいただいているところでもありますから、基本的には意思をきちっと確認したいとは思っていますがその方法等については今後も検討していきたいと思っております。

10月15日、舞川幼稚園の公開研究会がありました。コロナの関係で縮小した形で人数制限、案内する人数を制限した形で行われましたが50名ほど参加しまして、小学校との接続をテーマに活発な研究会が行われたところでもあります。

10月17日、全国川サミットin一関が一関で行われました。これは2年に一遍、全国の川のそばにある都市を回りながら大会を行っているものであります。今回は一関ということで行われたところでもあります。実践発表の中で大原小学校の6年生に発表していただきました。製鉄の学習についてお話をし、非常に良い発表をしていただきました。

地元のホッパの会の代表の方の指導を受けながら、鉄を集めるところから、そして鉄を溶鉱炉で溶かすところ、そして最後には固めて製品にするまでということで非常に良い発表をしていただいたというふうに思っております。ちなみに主管課は建設部の方で中心にやって行った事業であります。

18日日曜日、わくワークお仕事作文コンクールの表彰式がありました。これは一関の青年会議所が主催したもので、市内の小学生に仕事のインタビューなどをした中で、その動画を見せていろいろな作文を募集したものであります。良いキャリア教育の場を提供していただいたなと思っております。

第30週10月21日、市の就学支援委員会がありました。これは現在在籍している子供が特別支援学級に移るとかという場合に、この就学支援委員会で専門的な検査等の結果を踏まえて意見をいただく、そういう機会でありました。非常に長い時間かかりましたが意見集約をこの場でしていただいたところでもあります。

行事報告は以上です。何かご質問ありましたらよろしく申し上げます。

**○千葉委員** 大東地域の中学校統合の説明会が11月11日に行われると、新聞で読んだ範囲で投票についても書いてあったんですが、4地区全部の投票なのかなと認識したんですが、今話されたのは大原地区だけですか。

**○教育長** 大原地区だけです。そういう予定にしておりました。



他の地区は、中学校区でいうと大東中学校区と興田中学校区の4ヶ所に分かれて説明会を市民センター毎にやりましたので、ここは説明して基本的に反対はゼロと、全部賛成だったので、そういう方向で了解ということでもよろしいですねっていう確認をとりました。

ただ、大原地区だけは最初の説明会の時には圧倒的に反対意見の話でありましたので、これで決めるわけにいかないということで、あと2回説明させていただきますという機会を持ちました。反対もありますから、一定の数的な把握もこっちである程度しないと次に進んだ時に、いやそうでないはずだってなっても困るのでその数的な把握をするために、何かの意思確認をする必要があったんです。その時に、結構お互いに遠慮してですね、他の方の手を挙げさせる方法でもいいし、起立でもいいんですが、そういう遠慮が働くかなという判断のもとで一人一人の意思を紙に書いてもらうっていう意味での投票をしてもらう予定でおりました。そんなところであります。

○千葉委員 70%以上ならGO。50%以下ならば無理しないで、50から70の間だともうちょっと説明を加えたりいろいろやるっていう新聞の内容はその通り。

○教育長 やっぱり一定程度、7割位の大方の賛同が必要だろうなというふうに思っていましたし、半分以上が反対の場合には、これはもう無理できないと、その場合にはもう1回教育委員会に報告させていただいて、残り2地区でどういうふうな形にするかをもう一度皆さん方とお話させていただきたいなと思っていました。

○千葉委員 可能性の一つとしては2つだけの統合ということもありうる。

○教育長 2地区で、大東中学校区と興田中学校区ではぜひやって欲しいっていう声は強いんです。ですから仮にこの場でもう1回報告してその方向になった場合にはもう一度興田と大東中学校区にはその方向で今度は行きますかということで説明をさせていただいて、その2校っていうことが出てくるかもしれません。ただ提言自体は、3校同時に対等での統合が提言でありましたので、それをとにかく第一案として進めていきたいと思っていました。

その他、行事報告につきまして、よろしいでしょうか。

それでは行事予定に入りたいと思います。事務局お願いいたします。

○教育総務課長 (説明)

#### その他(1) 令和2年度学校教育行政の重点について(グローバル化への対応)

○教育長 4番のその他に入ります。

(1) 令和2年度学校教育行政の重点で毎回簡単に説明していただいています。今回はグローバル化への対応ということでもよろしくお願ひします。

○学校教育課長 (説明)

○教育長 グローバル化への対応ですね、皆さん方から何かご質問ありましたらよろしく  
お願いします。  
よろしいですか。

## その他(2) 「骨寺村荘園遺跡」拡張登録に係る取組状況について

○教育長 次(2)に入ります。「骨寺村荘園遺跡」拡張登録に係る取組状況について、  
説明をお願いします。

○骨寺荘園室骨寺荘園係長 (説明)

○教育長 ありがとうございます。

今報告ありましたが、世界遺産の部分についていろいろ課題もありますけども今の新進捗  
状況であるということです。

最後に令和4年までということ、今は取り組み期間をある程度考えてやっていますので、  
令和4年ってあと2年ですので、その中である程度推薦書案に盛り込まれるように頑張り  
たいというふうに思っています。ただ、それがうまくいけばですが、難しい場合には一旦  
そこで区切りになるだろうというふうに思われます。

これについて何かご質問ありますか。

○千葉委員 素朴な質問なんですけど、現在荘園遺跡の所有者ってのはどこになるんですか。

○骨寺荘園室骨寺荘園係長 基本的にはそれぞれの土地の所有者。

○千葉委員 公共機関が買い取ったりしているわけではない。

○骨寺荘園室骨寺荘園係長 山王の窟屋は市で買い取りました。

○千葉委員 田んぼを重機を入れなくて耕したりなんかするのもそれぞれの地主。

○骨寺荘園室骨寺荘園係長 そうですね、基本的には土地の所有者、耕作を頼んでいる方  
もいらっしやいますけど地元の方がやっています。

○千葉委員 機械は入れられないのでしょうか。

○骨寺荘園室骨寺荘園係長 入れております。田植えとか稲刈りの体験用の本当の小さい  
田んぼだけは皆で手でやりましたけど、それ以外は普通に機械を入れて作業されています。

○教育長 小区画水田。これが昔からの水田の姿ですので、これを中心に文化的景観って、  
これはもうすでに国から指定されていますので、それが文化的景観の核になる部分ですね。  
それは今もそういう形でやっているということです。

○千葉委員 自分の所有地だからって売れないんですよ。法律かなんかで。

○骨寺荘園室骨寺荘園係長 土地の目的を変えるってことはできないんです。例えば田ん  
ぼを宅地にするとか、違う地目に変えることはできない。

○千葉委員 国とかね、県とか市に買い取ってもらったほうがずっとありがたいでしょう

ね。ただ誇りがあるけどね。

○教育長 あと、よろしいですか。

今後についても進捗状況等について時折報告させていただきます。

### その他(3)

○教育長 (3) のその他にあります。

今年度教育委員部会の教育委員さん方、岩手県の教育委員さん方の総会、研修会がありました。今回、佐藤委員さんに出席していただきましたので、10月4日紫波町の役場で行われたものです。これについて若干報告をお願いします。

○佐藤委員 10月4日に紫波町におきまして岩手県市町村教育委員会協議会、令和2年度教育委員。部会の総会と研修会が開催されました。

総会では次回の令和3年度教育委員部会研修会は平泉町で開催されること。

それからその際の情報交換会の座長、事例発表者の人選については事務局に一任ということになりました。

次に役員改選が行われまして、令和2年10月から4年10月までの役員につきましては部会長に盛岡市教育委員会の田口職務代理者、副部会長に一関市の千葉職務代理者、山田町の長崎職務代理者、久慈市の成田職務代理者が満場一致で選出されました。

研修会の情報交換会では田野畑村の熊谷委員によりまして小中連携教育、高校通学補助などの事例について、また滝沢市の佐藤教育委員から滝沢市内の小学校の入学前に発達障害につきましても説明会を実施していることなどについて報告がありました。

午後は野村胡堂あらえびす記念館を視察しまして、銭形平次捕物控などを表した作家として、またあらえびすのペンネームで音楽評論家としても著名で、約1万枚のSPレコード所蔵している記念館でございます。

当日は館内の展示を見学後、町教育教育長の解説によりましてレコードコンサートが行われました。

紫波町ではですね、そういった音楽による教育、それから地域活性化というものを目指して音楽鑑賞コンクールなどを現在行っていると、そういったような説明がございました。

以上簡単でございますが報告をさせていただきます。

○教育長 何か質問ありますか。

よろしいでしょうか。

出席報告ありがとうございました。

その他に事務局からありませんか。

○教育総務課長 各学校に図書室がありますが、今、東磐井地区では「ほんた君」という

システムで学校図書館を運営しております。

一関地域と花泉地域におきましては、まだシステムが入っていないので手書きでもって貸し出しをしているんですが、今回、コロナの補助金を使いまして、図書館の方にもシステムを導入するという方向で今動いております。11月4日の臨時議会でパソコンを買う補正予算を提出しまして、それが議決になりましたらパソコンを購入して、来年からシステムを導入して、市立図書館と連携したシステムを入れるということですね、そういった方向で今、動いていることをご報告させていただきます。

**○教育長** 今東磐井の方の学校が本を借りる時、学校の図書室に行くと、バーコードリーダーを使って借りれる仕組みなんです。

ただ西の方はですね、今も図書カードに手書きで書いてるっていう、それを何とか両方同じにしようと前から検討されていたんですがなかなか難しい部分がありました。

東の方で何でそれができたかという、合併前にですね、文科省の事業で図書館ネットワーク事業というものがあまして、あるシステムのソフトを入れて学校間で、例えば、大東小学校で足りない本を藤沢小学校にあるからそれを借りることができるシステムを導入して本の流通を始めたんです。

それが合併しまして、それはそのまま地域的に東磐井だけで稼動していました。

ただそのシステム自体もかなり古くなって、システムの不具合もいろいろ出てきたりしてですね、いずれは使えなくなる運命にあったもんですから何とか別の形で、一関市の図書館にあるシステムと同じものを入れることによって、学校から図書館の本も予約できると。そして実際の本の流通は、読書普及員が2校に1人入ってますから、その方が1週間に1回、市立図書館に行っていますので、その市立図書館から持ってきて学校の子供たちに渡す。子供たちは学校にいながら市内のどの図書館からでも借りれるような、そういう仕組みができそうであります。

図書館同士はすでに業者の配本によってできていますから、あとは学校の部分が読書普及員の運び方だったんですが、システムが違うために東の方もちょっと厄介な部分があったんですがそれが一本化すると非常に便利になるという、そういう予定であります。

ですから西の方も来年の4月からとはいかないかもしれませんが、いずれピッとやれば借りれるし、市の図書館の本も、千厩図書館からでも取り寄せることができるような、そういう仕組みができそうであります。

今それを、学校教育課と図書館、教育総務課で連携しながら準備にあたっているところあります。多分、県内ではどこもやってないので、大掛かりな取り組みになるんじゃないかなというふうに思います。

よろしいですか。

それでは、以上で第212回一関市教育委員会定例会を終了いたします。  
ありがとうございました。